第 10 期「まちづくり大学」グループワークの議事録

E 班　　ファシリテーター　（　喜納政本　）

参加者	大浦悦子、工藤佐知子、荒谷恵介、多田悦子、谷川鈴子
	発表役（　大浦悦子）

提案者	地域デビュー(ボランティア)への気づき・目覚め	問題点・障害など又は取組みテーマ
大浦悦子	町づくりは、人づくりと実感	情報と現況を調査把握
工藤佐知子	地域活動へモチベーション向上	行政の関わりと地域活動把握
荒谷恵介	市民活動状況等が判明	市民活動に向けて、町内会活動に参加
多田悦子	地域の福祉を組織(老人会)的に活動に参加	・経験、体験を活かして、信頼関係の構築（挨拶、声掛け等々）
谷川鈴子	現役時代の経験を次世代へ伝えたい	次世代へ伝達手段を模索 ・子供達関連のボランティア活動を模索
話合いの概要	参加者中で、現代自分が参加している状況と問題点を中心に話が進んでいった。経験、体験を踏まえ、地域デビューには、「普段から人とのコミュニケーションづくりを大切」また町づくりには、人づくりが要と話が進み、現役世代の経験、知恵を生かし、次世代に伝えてため手段を話し合う。	

発表内容	○まち大参加しての感想 ・受講して、行政が深く関わっていることが知る事ができた。 ・モチベーション高くなった ・市民活動の状況が良く分かった ・ぼんやりとした地域活動というものがつかめたかな? ・公的な多くの活動場所があることを知りました ・具体的な体験もあり、現場をしる機会になり　視野も拡大された ○取り組みたい地域参加活動 ・福祉・介護関連に参加希望 ・自分を生かしたボランティア活動を模索する ・仕事の空き時間に子供達かかるボランティア活動を考慮 ・町内会、老人会に参加して勉強する
感想	E 班は、地域活動未経験者 4 名（主婦、現役の方、最近定年された方）でしたので、今後の地域活動は、地域デビューの助走期間が（まちづくり研究会会議の見学、呼びかけ、後押し）が必要と思われる。

その他感想記入
講座を振り返っての意見・感想として 上記の発表内容に記載しています。